

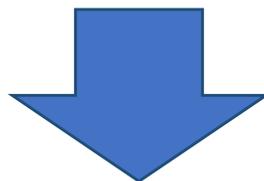
北陸新幹線敦賀・新大阪間の整備について

与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム
北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会
ご説明資料

令和6年12月13日
京都市

1 新たな国土軸としての「北陸新幹線」

- ◆ 近畿圏と北陸圏を結ぶ日本海国土軸として重要
- ◆ 歴史的に縁深い北陸圏との繋がりも重要
- ◆ 日本海国土軸の国策としての意義は十分に認識



しかしながら、事業に当たっては、
京都市民のくらしや生業に、
最大限、配慮していただく必要がある。

⇒ 自民党市会議員団や酒造組合など、
京都の主要な団体や、市民の皆様から
懸念の声が寄せられている。

◆ 山紫水明の地、京都三山（東山、北山、西山）

「山の京都」 — 三山に囲まれた盆地

「水の京都」 — 質の高い伏流水が豊富な地



◆ 京都の人々のくらしや生業を支えてきた “ 京都の水 ”

- ・ 京都の人々は、まちを囲む山々を水源とする河川や豊富な地下水といった水の恩恵を受け、くらしや生業を続けてきた。
- ・ 特に、豊かで質のよい地下水は、日本酒・京料理に代表される京の食文化や市民の憩いの場である銭湯など、生活文化を支えてきた。

12/5には、
「伝統的酒造り」が
ユネスコ無形文化遺産に登録決定

⇒ 酒造組合からの要望書の提出

- ・ 地下水は“酒蔵の生命”。何百年も続く蔵元は、地下水を守るために尽力してきた。
- ・ 伏見の酒蔵が使用する井戸の深度と新幹線のトンネルの深度はほぼ一致する。
- ・ 水質に対して、十分すぎるほど配慮してほしい。



◆京都府酒造組合連合会・伏見酒造組合からの要望書

○組合の概要

- ・京都府酒造組合連合会
(京都府内の6酒造組合40社が加盟) ※伏見酒造組合も加盟している
- ・伏見酒造組合
(京都市伏見区の21社と城陽市の1社が加盟)

○要望書提出日

令和6年12月2日(月)

○要望内容等

- ・地下水は“酒蔵の生命”。何百年も続く蔵元は、地下水を守るために尽力してきた。
- ・古くは昭和3年の旧奈良電鉄の地下鉄計画に対して、地下水に与える影響を調査し、科学的資料を以て、高架軌道への変更をしていただいた。
- ・常時、地下水の分析を行い、品質に変化がないことを確認する努力も怠っていない。
- ・伏見の酒蔵が使用する井戸の深度と新幹線のトンネルの深度はほぼ一致する。
- ・京都府内の酒蔵の地下水に影響を及ぼさないルートとなるように国や関係機関に働きかけていただきたい。

①地下水

②建設発生土

③交通渋滞

④財政負担

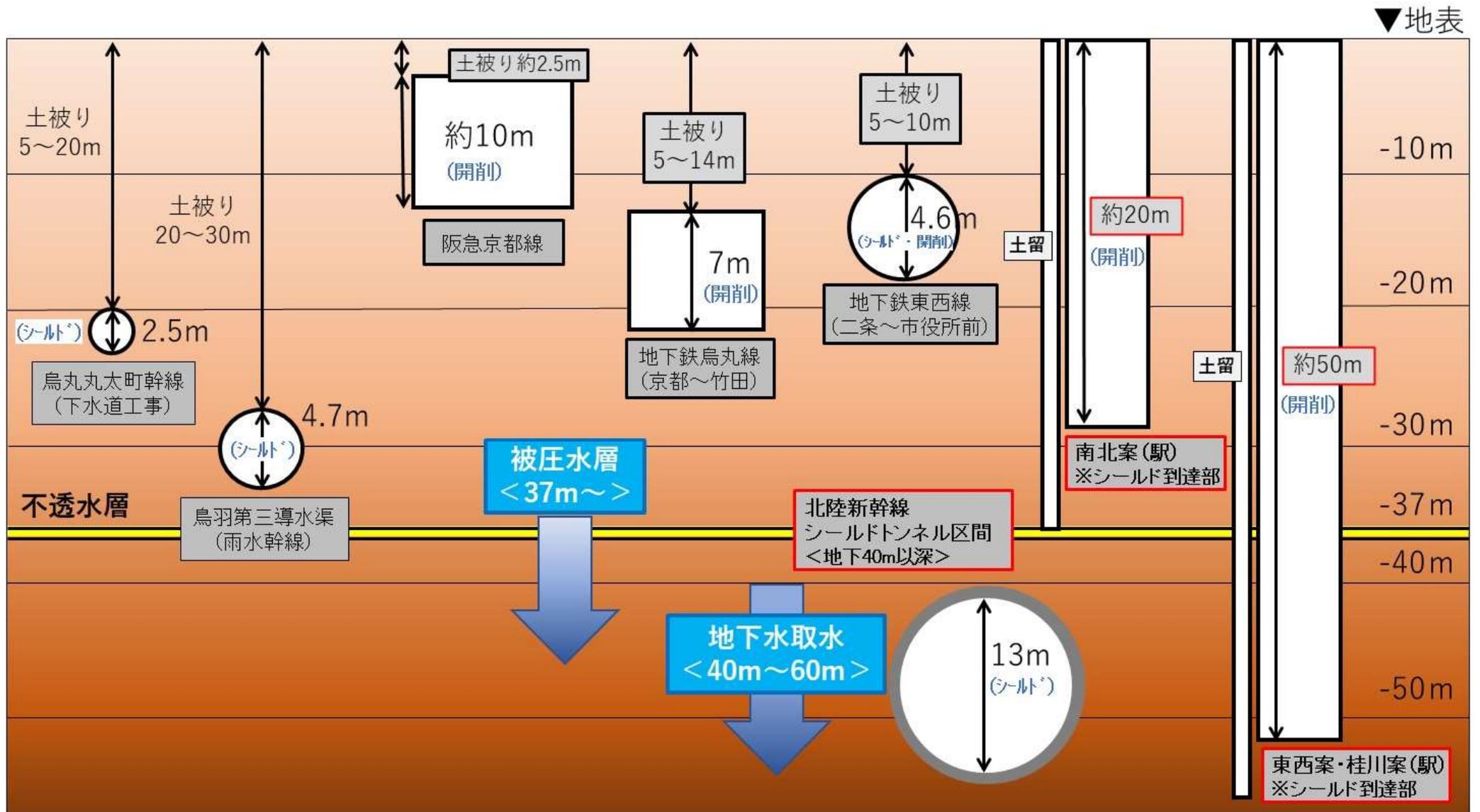
①地下水

- 市内の地下を相当な距離に渡って、トンネルが縦貫し、かつ、これまでになかった深い層（難透水層より下の層）を通過するため、京都の地下水に甚大な影響を及ぼす懸念がある。

（酒造組合の声）

- ・ 地下トンネルが難透水層を通過する際に、浅い層の地下水と深い層の地下水が混ざり合うことで、地下水の水質が変化する可能性がある。
- ・ 地下トンネル直上及び直上付近で、井戸枯れが起こらないか定かではない。
- ・ 50年、100年後も水質を守れる保証があるのか分からない。
（経年による腐食等により、影響を与える恐れはないか）

(参考) 京都市内の地下構造物の位置関係



※不透水層の深さは烏丸十条の例によるが、地点により異なる。
 ※内空断面の寸法を記載

出典：鉄道・運輸機構、各鉄道機関、京都市上下水道局発表資料より京都市作成

② 建設発生土

- 大量に発生する建設発生土
（うち約30%が重金属を含む要対策土）
の処分地を確保できるのか懸念がある。
- 土砂を運ぶ工事車両により、
市民のくらしや観光、環境に影響を与える
おそれがある。

③ 交通渋滞

- 相当の長期間に渡り、
土砂の運搬や資材の搬入のために、
市内を大量の工事車両が往来する。
観光バス等で経常でも渋滞が発生しており、
深刻な交通渋滞が発生する懸念がある。
- 市民生活や観光、環境に対し、長期間に渡り、
大きな影響を与える懸念がある。

④ 財政負担

● 事業費が今後も増嵩する懸念がある。

● 京都市においても、老朽化対策や社会福祉対策に必要な予算の増加が見込まれ、長期に渡る更なる多額の地方負担によって、必要な対策に所要額を充てられなくなる懸念がある。

<事業費の増嵩リスク>

- ・ 物価高騰
- ・ 予想外の地質不良
- ・ 週休二日制の浸透による工期の長期化

- ◆ **4つの懸念について、
現時点では、十分な判断材料がない。**
- ◆ **ルート決定に当たっては、
現状を踏まえ、慎重に慎重を重ねた検討の上で、
精査を進めていただきたい。**